

3.5.2 社会・経済

社会・経済からみた対象 64 ワレダの類型化は以下の 4 つのデータを使用した。

- 人口に関するデータ：あらゆる人間活動の基本指標
- 道路、電化、給水に関するデータ：経済基盤に関する指標
- 教育及び保健衛生に関するデータ：ベーシックヒューマンニーズに関する指標
- 家屋の屋根材と住民組織に関するデータ：農村社会に関する指標

なお、新しいワレダの創設などもあって、幾つかのワレダのデータは時系列的な比較が出来ないものがあるが、その場合は旧ワレダのデータを使用している。

(1) 人口

1) 都市および農村人口

「エ」国では 2007 年に人口センサスが行われ、その結果が 2008 年末に公表された。対象 64 ワレダのうち、9 つのワレダ（Abergelie, Gazgibela, Sehalá, Telemt, Bugena, Aregoba, Dessie Zuria, Mehal Sayint および Menze Lalo Mider）では都市圏がまだ形成されておらず、都市人口が記録されていない。都市人口の多くは非農業セクターで生計を立てており、自ら食料を自給していないことから農産物の消費者、すなわち農産物のマーケットと考えることが出来る。都市人口に比例して農産物販売マーケットも大きくなり、多くの都市人口を抱える（或いは多くの都市人口が近隣に居住する）ワレダは、マーケット志向の商業的な農業発展の可能性がある。

都市人口を有する 55 ワレダの状況を道路配置と併せて示した（図 3.5.6 参照）。調査対象地域内では都市人口の分布に偏りが見られ、北西部や東部に都市人口が多く分布しており、その多くは主要道路が通っているワレダである。都市人口の大小と主要道路の有無は密接に関連していると考えられる。

農村人口の分布は都市人口ほどの偏在は見られない。農村人口の多い上位 3 ワレダは Simada, Mekete および Ebinaté で、夫々 20 万人以上の農村人口を抱えている。Wag Himera や North Shewa ゾーンでは農村人口も少ないワレダもある。（図 3.5.7 参照）

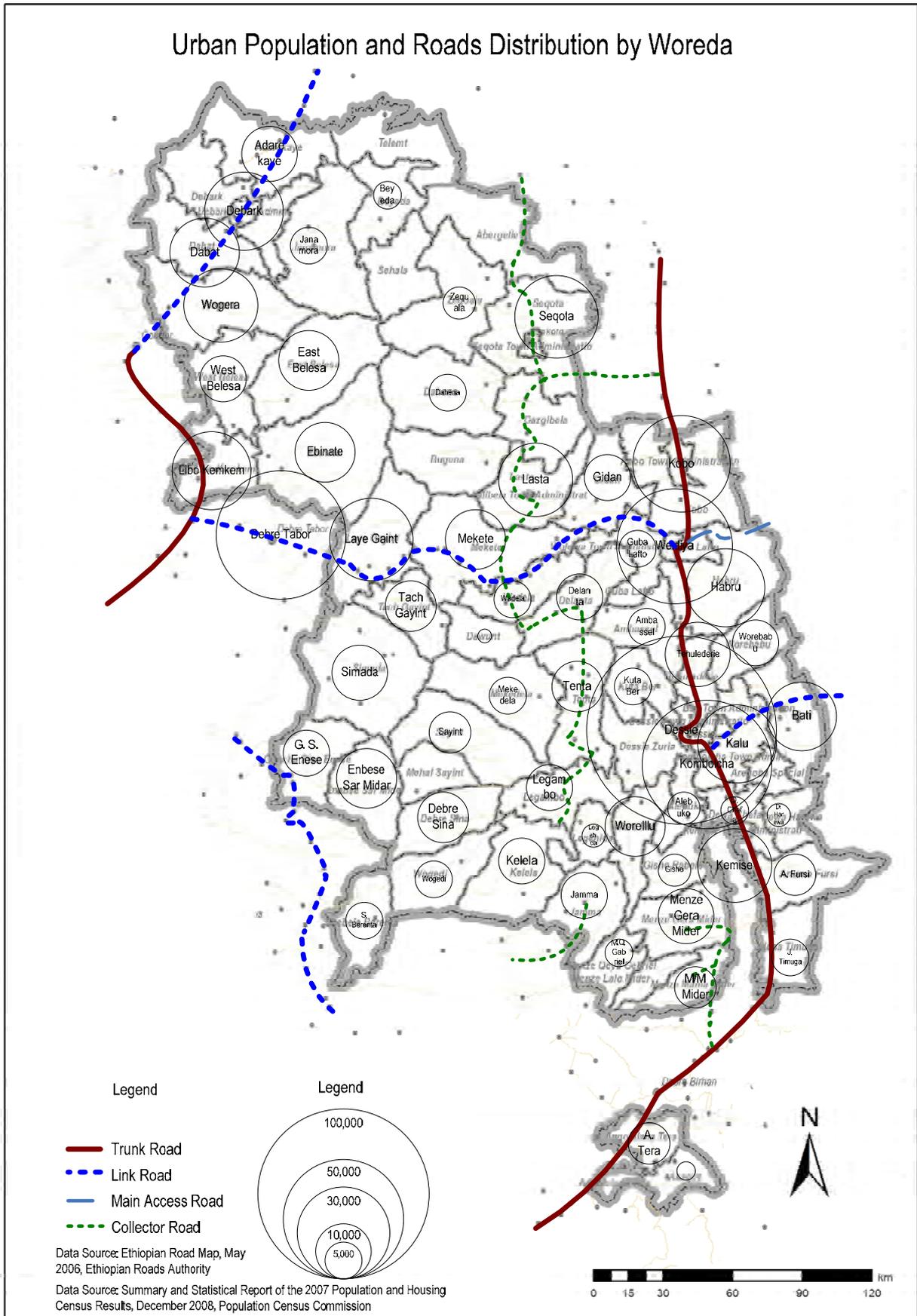


図 3.5.6 64 ワレダにおける都市人口と道路分布

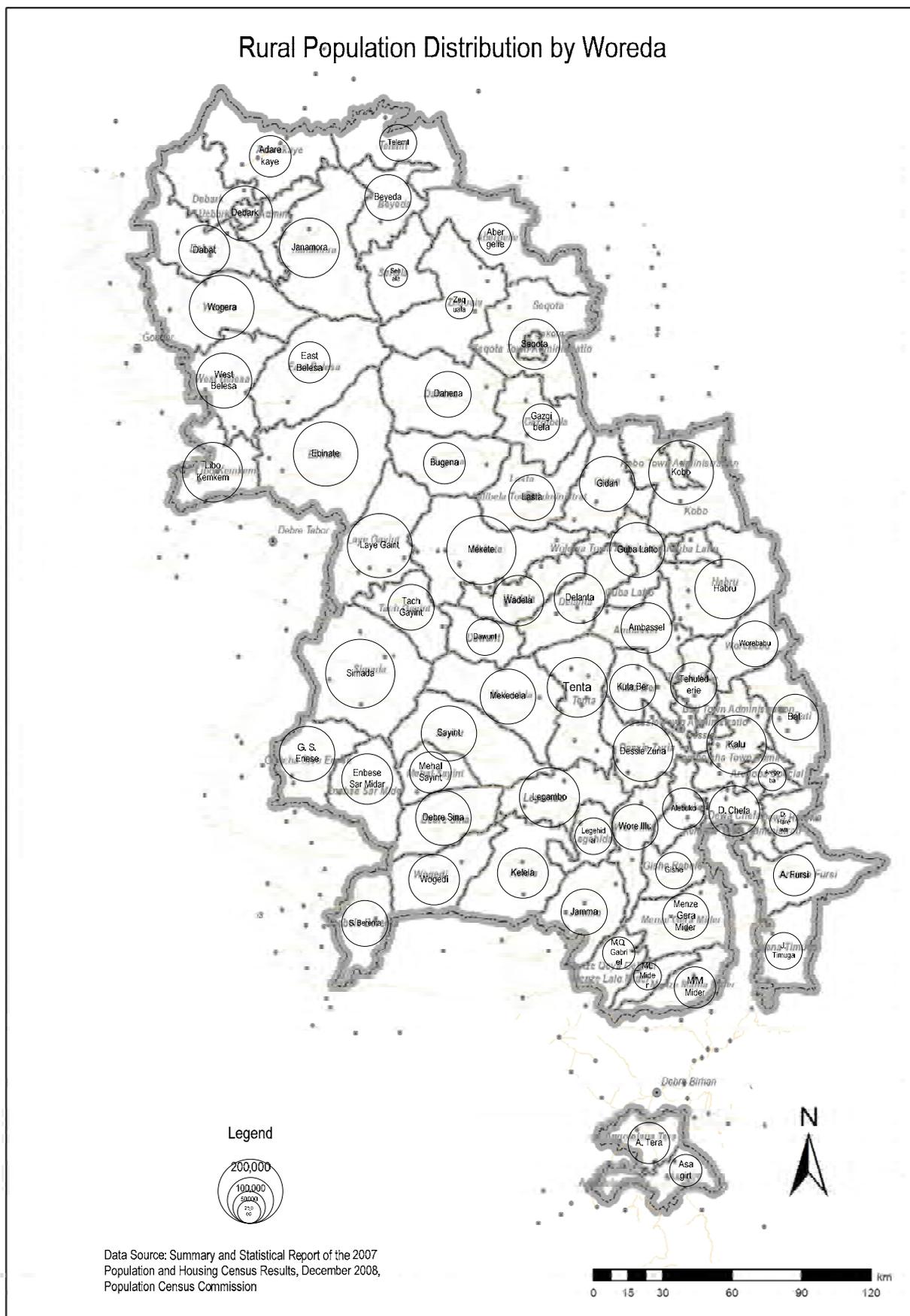


図 3.5.7 64 ワレダにおける農村人口の分布

1994 年のセンサスデータを用いて、2007 年までの平均人口増加率を都市と農村人口別に算定した。都市における人口増加率は、この期間中に 3 倍以上に都市人口が増加した North Gonder および Wag Himera ゾーンで高い反面、Oromiya や North Shewa ゾーンや South Wollo ゾーンの東部に分布するワレダでは都市、農村とも人口増加率は低い。農村人口がワレダ総人口の大勢を占めるワレダが多いことから、農村人口増加率の高いワレダでは将来家族計画の推進が重要となるかもしれない。(図 3.5.8 参照)

2) 人口密度および都市人口率

対象 64 ワレダの平均人口密度は 114 人/平方キロであるが、Sehala ワレダの 25 人/平方キロから Tehulederie ワレダの 251 人/平方キロまでその差は大きい。一般的な傾向として、人口密度の高いワレダは South および North Wollo ゾーンに多く分布しているが、その他に Libo Kemkem および Dewa Chefa ワレダでも人口密度が高い。これらのワレダではその他の人口密度の低いワレダに比較して土地資源がより希少化しつつあると言える。

都市人口率は主要道路に沿ったワレダで高い傾向にある。Seqota (Seqota 町を含む) や Bati (Bati 町を含む)、Lasta、Kobo (Kobo 町を含む)、East Belesa、Debark (Debark 町を含む) および Tehulederi ではワレダ人口の 12%以上が都市人口で、East Belesa を除いて何れも主要道路沿いに位置するワレダである。一方、South Wollo ゾーンの西部に位置する多くのワレダでは、都市人口率はまだ低い。これはこの地域が主要道路から離れている上、青ナイル川や Beshlo 川などの河川に囲まれているからかもしれない。Kalu や Libo Kemkem、Tehulederie などの人口密度、都市人口率とも高いワレダでは、農村における土地資源の希少化が進み、都市への人口流入が始まりつつあるのかもしれない。(図 3.5.9 参照)

3) 人口データによる対象ワレダの類型化

人口データのうち、人口密度および都市人口率を指標として 64 ワレダを類型化すると以下のようなになる。

表 3.5.3 人口データによる 64 ワレダの分類

Indicator		High Urban Population Rate (Higher than the average: >6.8%)	Low Urban Population Rate (Lower than the average: <6.8%)
		More urbanized Woredas	Less urbanized Woredas
High Population Density (Higher than the average: >107.2 persons/sq. km)	Land resources are scarcer within the Woreda.	Dabat, Debark, Enebse Sar Mider, Habru, Kalu, Kobo, Laye Gayint, Libo Kemkem, Menze Mama Mider, Tach Gayint, Tehulederie, Wogera, Wore Illu (13 Woredas)	Alebuko, Ambassel, Aregoba Special, Beyeda, Debre Sina, Delanta, Dessie Zuria, Dewa Chefa, Gidan, Goncha Siso Enese, Guba Lafto, Jamma, Kuta Ber, Legambo, Legehida, Mehal Sayint, Mekete, Shebele Berenta, Tenta, Wadela, West Belesa, Wogedi, Worebabu (23 Woredas)i
Low Population Density (Lower than the average: <107.2 persons/sq. km)	Land resources are less scarce within the Woreda.	Adarekaye, Angolelana Tera, Artuma Fursi, Bati, East Belesa, Jilena Timuga, Lasta, Menze Gera Mider, Seqota, Zequala (10 Woredas)	Abergelie, Asagirt, Bugena, Dahena, Dawunt, Dewa Harewa, Ebinat, Gazgibela, Gische Rabele, Janamora, Kelela, Mekedela, Menze Lalo Mider, Menze Qeya Gebriel, Sayint, Sehala, Simada, Telemt (18 Woredas)

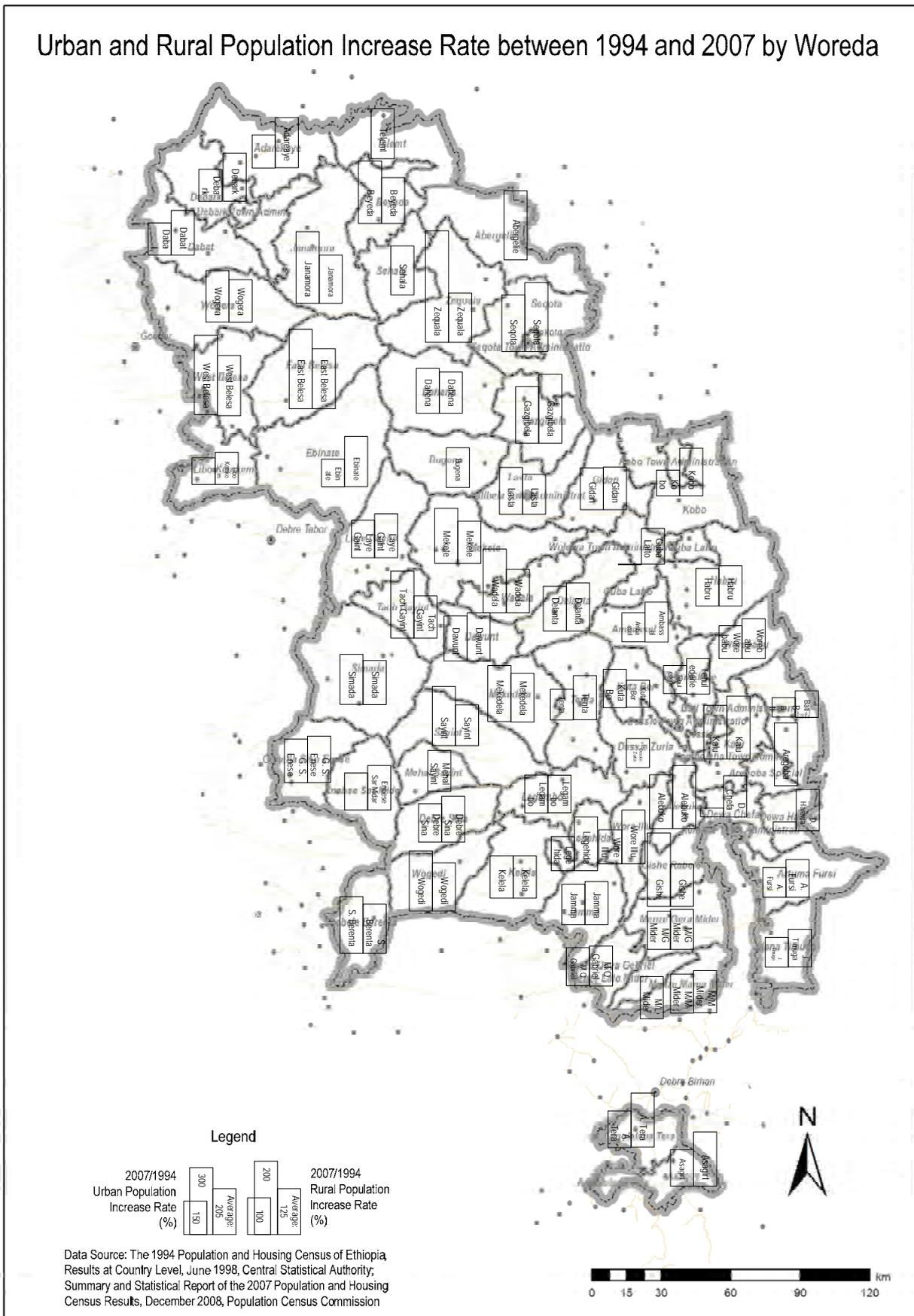


図 3.5.8 64 ワレダにおける都市および農村人口増加率（1994-2007）

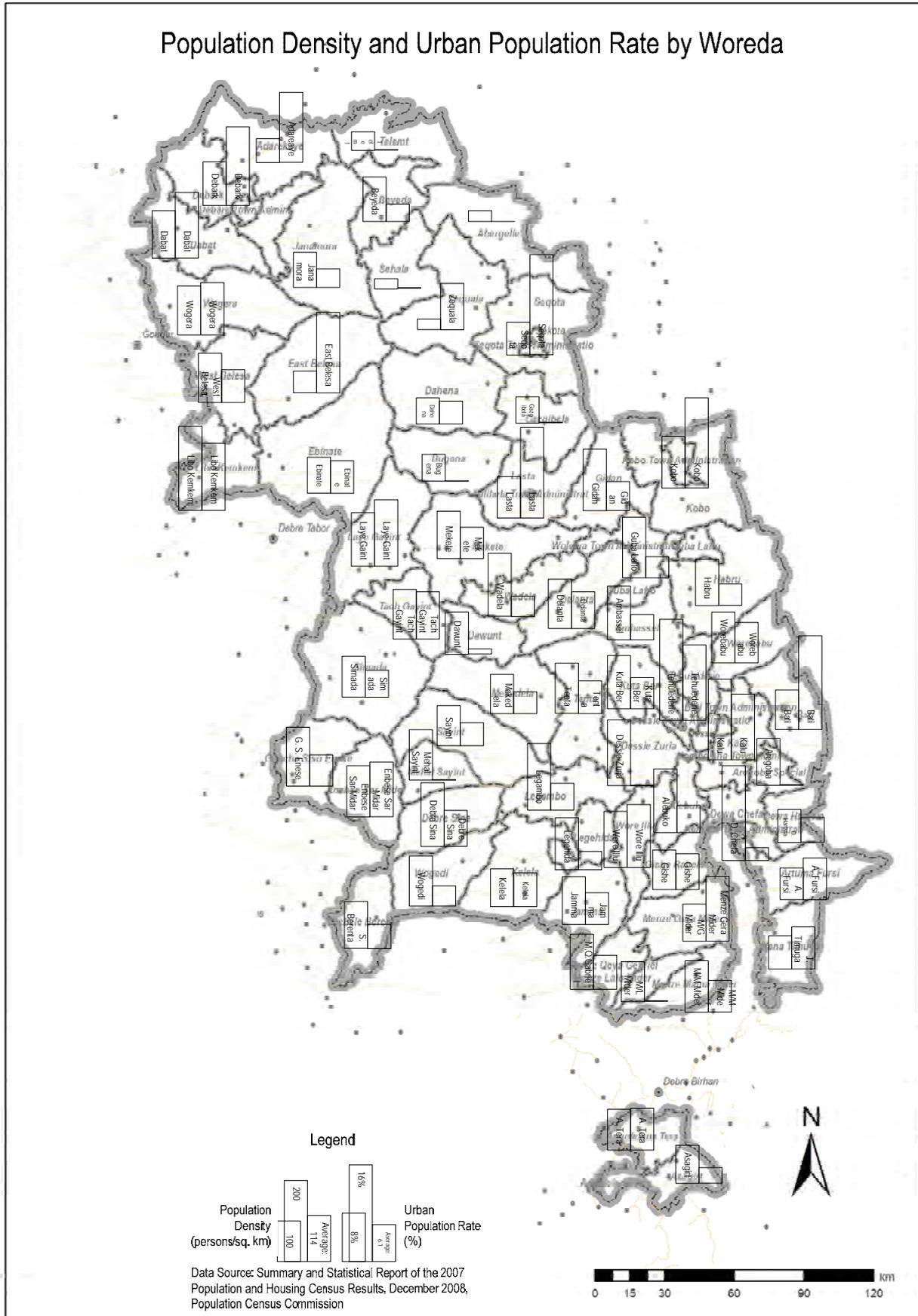


図 3.5.9 64 ワレダにおける人口密度および都市人口率

(2) インフラストラクチャー

1) 道路

幹線道路 (Trunk Road) は調査対象地域の東部を南北方向に走っているほか、西部にもあるが Libo Kemkem ワレダを一部通るだけである。また 4 本の準幹線道路 (Link Road) が地区内にあるが、最も重要な道路は地区中央を東西に走る Woreta-Weldia 間の道路である。この道路はアムハラ州の中央部と東部を結ぶ唯一の道路で、現在国際開発公社 (IDA) の支援の下、改修が進められている。その他の主要道路として、ジブチへと通じる道路 (Main Access Road) や 4 本の道路 (Collector Road) がある他、近隣ワレダ間を結ぶ Community 道路が多くある。

アムハラ州農村道路局 (Amhara Rural Road Authority; ARRA) から入手したデータに基づいて、Community 道路を含む道路の道路密度をワレダ別に算定し、図 3.5.10 に示した。全体としてみると、道路密度はまだまだ低いレベルに留まっているが、64 ワレダ間の相対的な比較を行うと、調査対象地域の南東部ではその他の地域よりもエチオピア道路庁 (Ethiopia Road Authority; ERA) および ARRA が管轄する道路、Community 道路とも密度が高い。北部地域では道路密度は低く、特に North Gonder と Wag Himera ゾーンの境界に分布するワレダの道路密度が低くなっている。

2) 農村電化と村落給水

調査対象地域内の農村電化はほとんど普及しておらず、全体で 2.2% の電化率と推定される。それでも地区の東部に分布するワレダでは他地域に比較して電化が進んでいる他、西部の Dabat や Libo Kemkem、Laye Gayint ワレダでも比較的高い電化率となっている。(図 3.5.11 参照)

村落給水率は農村電化率に比較すると遥かに上回っている。水資源開発局のデータによると、64 ワレダ平均では 44% の村落給水カバー率で、4 ワレダ (Dewa Chefa、Guba Lafto、Sayint および Wadela) では 90% を超える給水率となっている。その一方、Wogera ワレダではまだ 9% の給水率に留まっている。

3) インフラストラクチャーデータによる対象ワレダの類型化

電化率に関しては North Shewa ゾーンのデータが入手できなかったことから、総道路密度と給水率を用いて分類を行った。

表 3.5.4 インフラストラクチャーデータによる 64 ワレダの分類

Indicator		High Road Density (Higher than the average: >82 m/sq. km)	Low Road Density (Lower than the average: <82 m/sq. km)
		Better access by car	Worse access by car
High Water Supply Coverage (Higher than the average: >43%)	Less urgently need water supply development	Asagirt, Delanta, Dessie Zuria, Dewa Chefa, Gidan, Guba Lafto, Habru, Kobo, Lasta, Legambo, Legehida, Libo Kemkem, Mekete, Menze Gera Mider, Tenta, Wadela, Wore Illu (17 Woredas)	Angolelana Tera, Beyeda, Enebse Sar Mider, Giske Rabele, Goncha Siso Enese, Jamma, Kelela, Menze Lalo Mider, Sayint, Shebele Berenta, Zequala (11 Woredas)
Low Water Supply Coverage (Lower than the average: <43%)	Urgently need water supply development	Ambassel, Bati, Debre Sina, Dewa Harewa, Ebinate, Gazgibela, Kalu, Kuta Ber, Laye Gayint, Menze Mama Mider, Menze Qeya Gebriel, Seqota, Tach Gayint, Tehulederie (14 Woredas)	Abergelie, Adarekaye, Alebuko, Aregoba Special, Artuma Fursi, Bugena, Dabat, Dahena, Dawunt, Debark, East Belesa, Janamora, Jilena Timuga, Mehal Sayint, Mekedela, Sehala, Simada, Telemt, West Belesa, Wogedi, Wogera, Worebabu (22 Woredas)

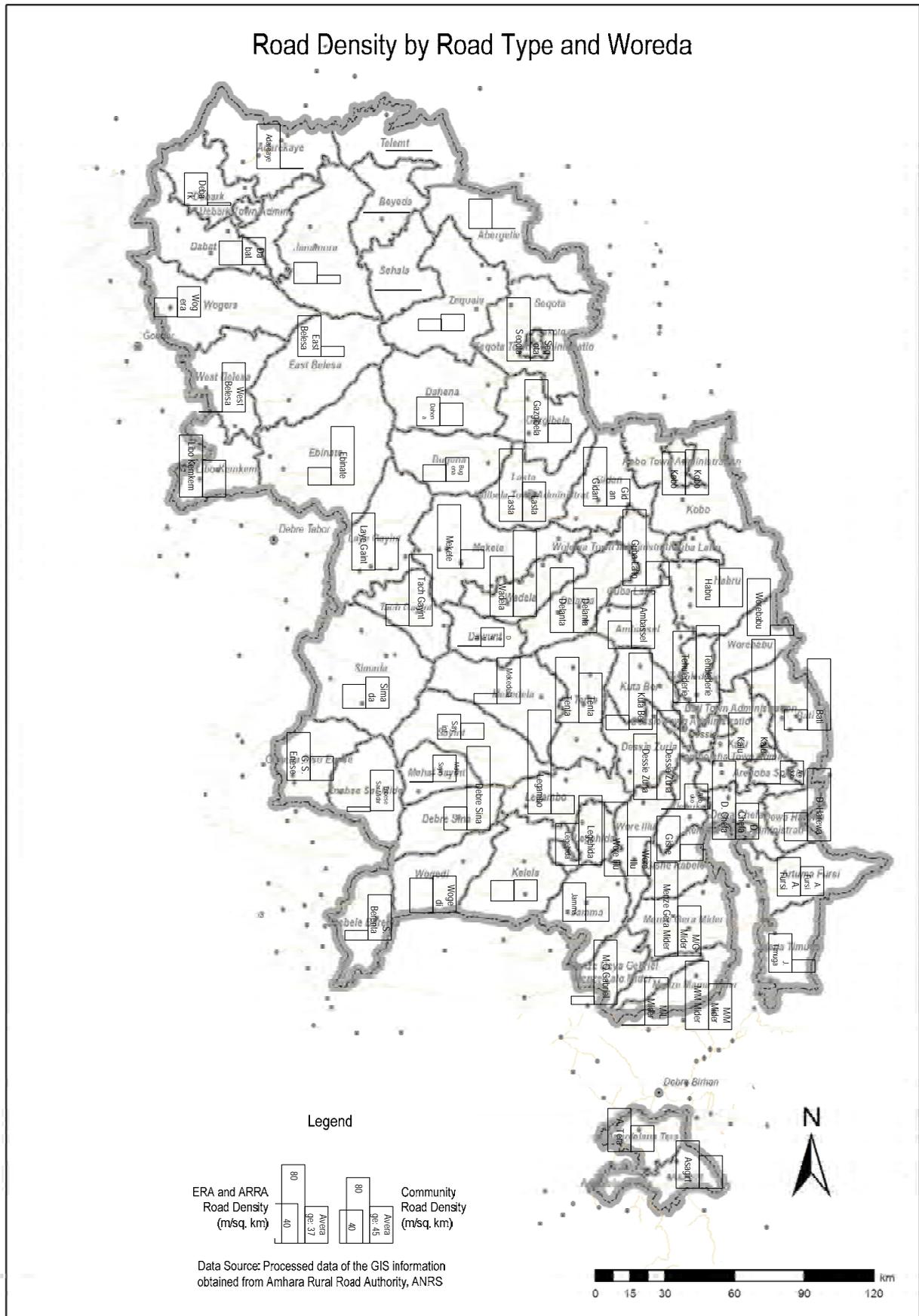


図 3.5.10 64 ワレダにおけるタイプ別道路密度

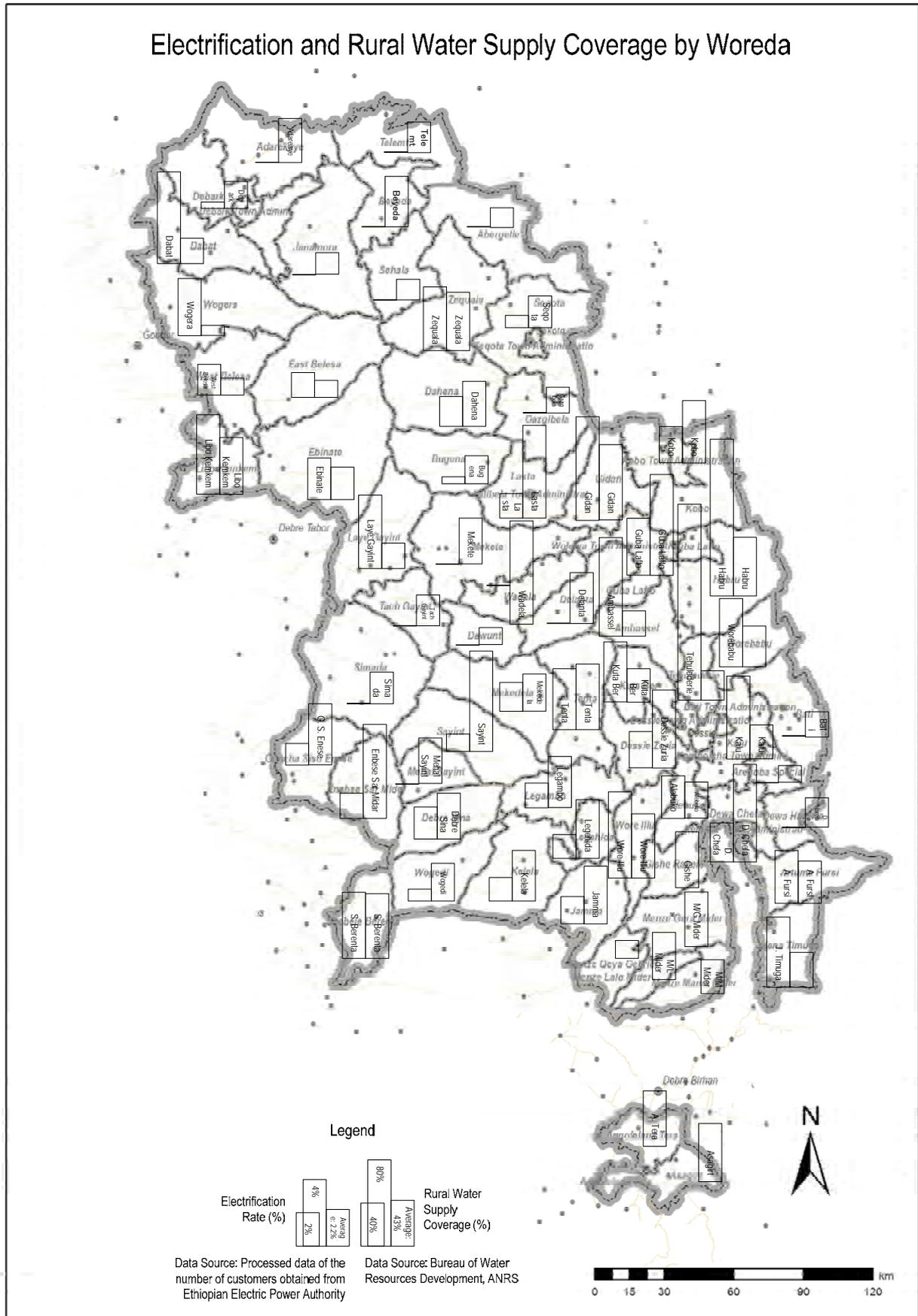


図 3.5.11 64 ワレダにおける電化率および村落給水率

(3) 教育及び保健衛生

1) 教育

教育関連データはまだ旧ワレダ境界に基づいたものが多く、対象全 64 ワレダのデータ収集は難しい状況にある。その中で多くのワレダデータが入手可能な非識字率 (52 ワレダ) と小学校 (1-8 年) における教師一人あたり生徒数 (61 ワレダ) を図 3.5.12 に示した。

ワレダ全体の平均非識字率は 71% で、North Gonder や Wag Himera ゾーンの北部に分布するワレダで高い傾向にあり (Sehala や Zequala ワレダの非識字率は 92% で最大)、South Wollo や Oromiya ゾーンなどの南部のワレダで低い傾向にある (Dewa Chefa や Dewa Harewa ワレダの非識字率は 17% で最小)。小学校教師一人あたり生徒数の平均値は 62 人であるが、North Wollo ゾーンのワレダで生徒数が多い傾向にあるほか (Bugena, Lasta, Gidan, Kobo, Mekete では 79-91 人)、Goncha Siso Enese (91 人) や Legambo (83 人) ワレダも多い。生徒数が少ないのは Menze Gera Mider、Menze Qeya Gabriel (ともに 19.8 人) や Artuma Fursi (31.8 人) ワレダであった。

2) 保健衛生

各ワレダの保健衛生の状況は、人口 1 万人あたり医療及び保健衛生施設数 (病院、ヘルスセンター、ヘルスステーション/クリニック、ヘルスポスト、薬局を含む) と保健衛生スタッフ数 (医師、助産師、看護師、准看護師、ヘルスアシスタント、臨床試験スタッフ、フロントラインヘルスワーカーを含む) で比較した (図 3.5.13 参照)。全般に、施設数、スタッフ数共に非常に低いレベルに留まっているが (施設数は平均 0.78 箇所/人口 1 万人、スタッフ数は平均 2.05 人/人口 1 万人)、Oromiya ゾーンでは他の地域に比較して施設数 (1.21-1.75 箇所)、スタッフ数 (2.33-4.44 人) とともに、また、Zaquala ワレダでも両数値が高い (1.59 箇所、4.78 人)。

3) 教育及び保健衛生データによる対象ワレダの類型化

上記データのうち、64 ワレダの分類には小学校教師一人あたり生徒数 (非識字率データよりもデータのあるワレダ数が多い) と人口 1 万人あたりの医療及び保健衛生施設数 (通常施設整備の後にスタッフ配置が行われることから、施設数がより重要と判断) を使用した。

表 3.5.5 教育及び保健衛生データによる 64 ワレダの分類

Indicator	No data on PTR	High PTR rate	Low PTR rate
		More teachers are necessary	Less teachers are necessary
No data on health institutions	Abergelie (1 Woreda)	Habru (1 Woreda)	Alebuko, Angolelana Tera, Gazgibela, Menze Gera Mider, Menze Qeya Gabriel, Sehala, Telemt (7 Woredas)
More health institutions	Less urgently need health facility development	Bugena, Debark, Giske Rabele, Guba Lafto, Kobo, Lasta, Mekete, Shebele Berenta, Tach Gayint, Tehulederie, Wadela (11 Woredas)	Adarekaye, Ambassel, Aregoba Special, Artuma Fursi, Bati, Dewa Chefa, Dewa Harewa, Jilena Timuga, Kalu, Kuta Ber, Menze Lalo Mider, Menze Mama Mider, Seqota, Worebabu, Zequala (15 Woredas)
Less health institutions	Urgently need health facility development	Asagirt, Dabat (2 Woredas)	Dahena, Dawunt, Debre Sina, Delanta, Dessie Zuria, Ebinat, Enebse Sar Mider, Gidan, Goncha Siso Enese, Jamma, Janamora, Laye Gayint, Legambo, Legehida, Libo Kemkem, Mehal Sayint, Sayint, Simada, Tenta, Wogedi, Wogera, Wore Illu (22 Woredas)

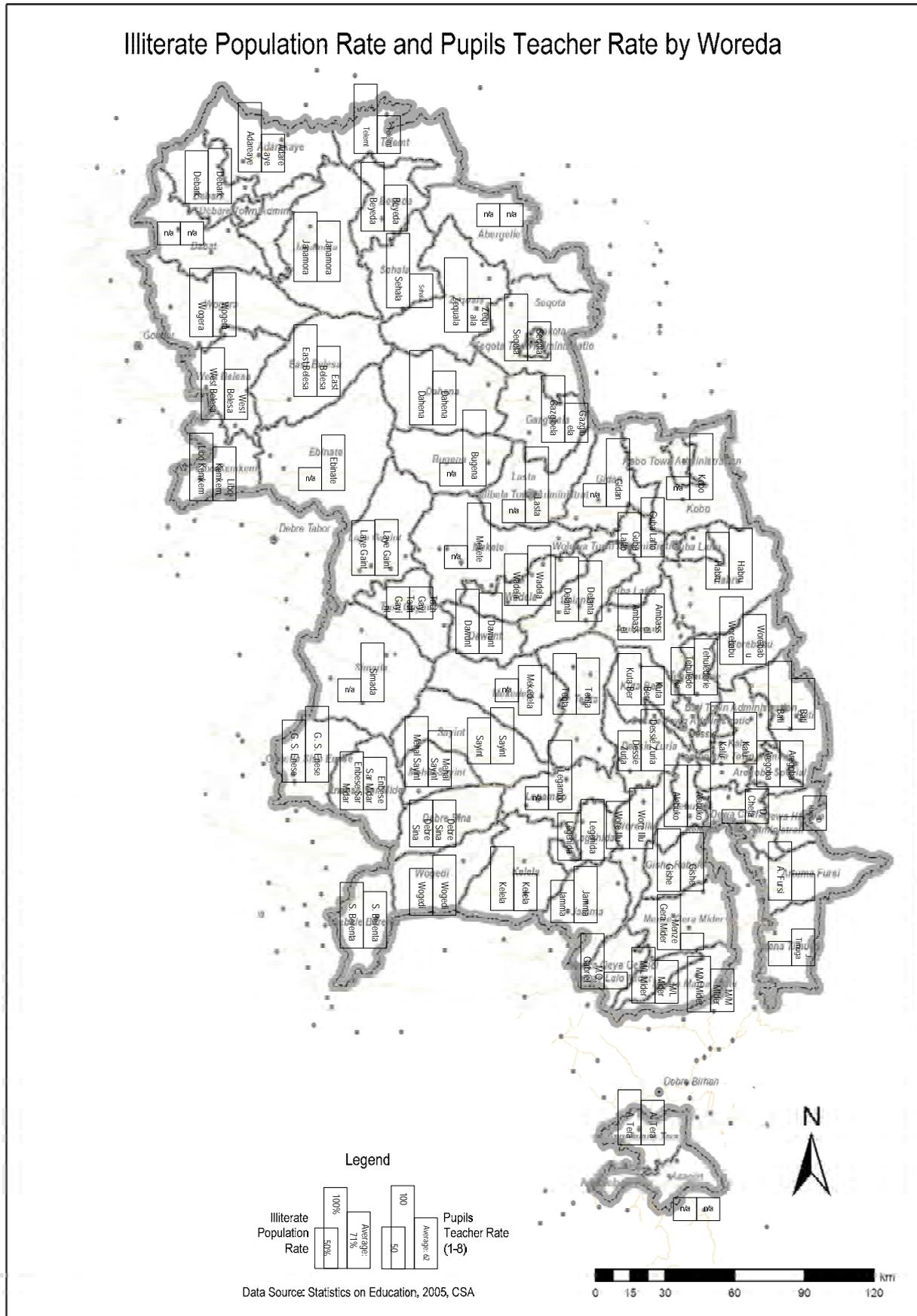


図 3.5.12 64 ワレダにおける非識字率および教師一人あたり生徒数

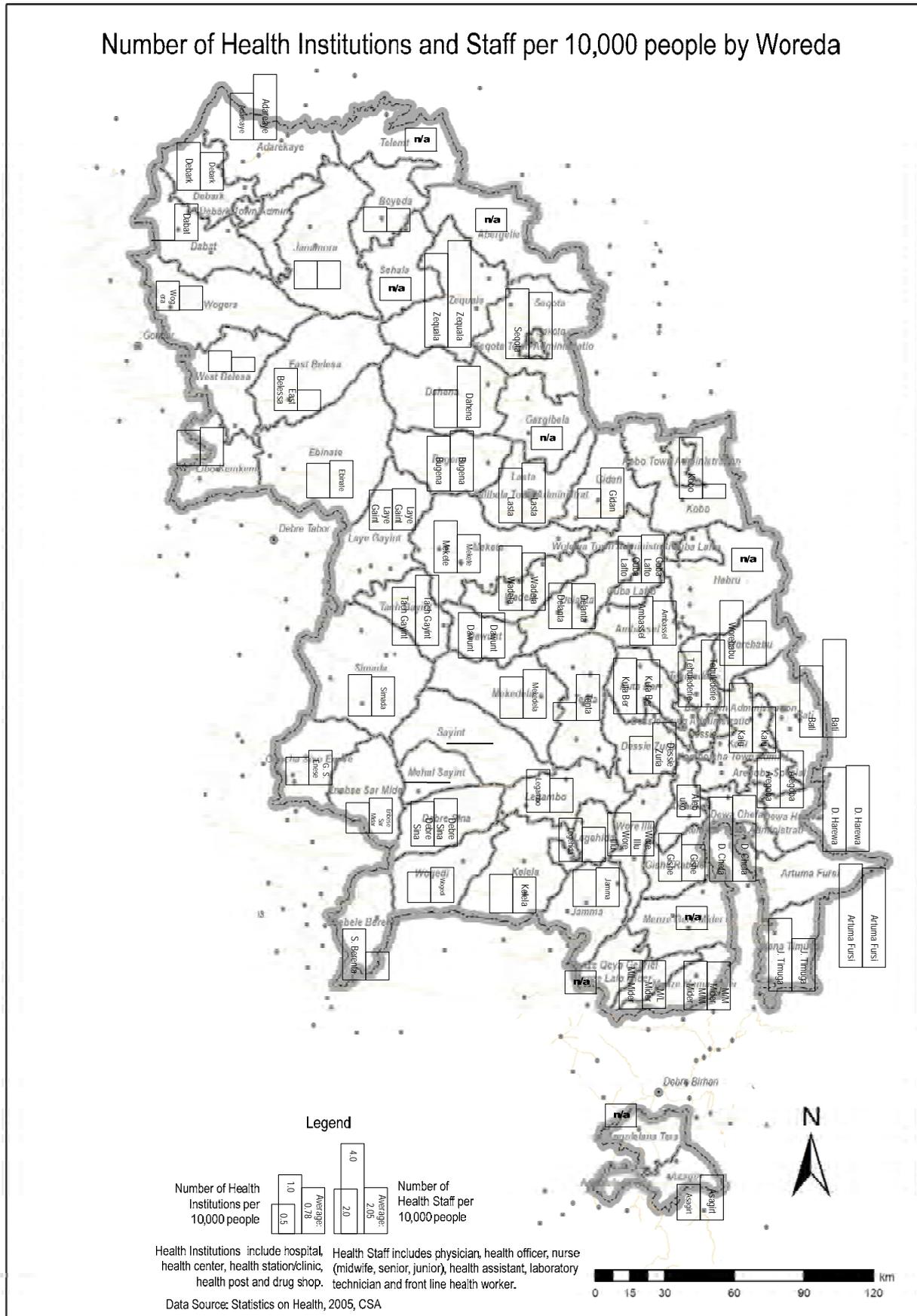


図 3.5.13 64 ワレダにおける人口 1 万人あたり医療/保健衛生施設数とスタッフ数

(4) 農村社会

1) 家屋の屋根材

農村地域では、一般に波型トタン板屋根を使った家屋には裕福な農家が多く、貧困農家世帯は草葺き屋根の家屋に居住する傾向にあることから、各ワレダの貧困指標の一つとして、屋根材の比率を比較した。(図 3.5.14 参照)

全 64 ワレダ中、46 ワレダで 3/4 の世帯の家屋は草葺き屋根である。しかし、Dessie や Kombolcha 周辺のワレダではトタン板を使った家屋もかなり多いほか、南西部に位置する 5 つのワレダではトタン板を使った家屋の比率が高い。その一方、11 ワレダ (Gishe Rabele、Artuma Fursi、Angolelana Tera、Jilena Timuga、Simada、Gidan、Habru、Laye Gayint、Ebinata、Kobo および Janamora) では 9 割以上の家屋の屋根材は草葺きである。特徴的なワレダとして、竹材を使った屋根の家屋が East Belesa ワレダに多くある

2) 住民組織

農村部には伝統的な住民組織 (例えば、*Ekub*、*Eddir/Kere*、*Mahiber*、*Senbete*、*Debo*、*Wonfel*¹⁶など) があるが、その選好度には地域差が見られる。South Wollo や Oromiya、North Shewa ゾーンで最も住民に人気があるのは *Eddir/Kere* であるが、Wag Himera ゾーンでは *Senbete* が最も好まれている。North Wollo ゾーンの北部のワレダでは *Eddir/Kere* の人気が高い一方、ゾーンの南部のワレダでは *Senbete* が好まれている。*Mahiber* は North Gonder や South Gonder ゾーンの北部で一番人気があり、*Wonfel* は南部の Asagirt や Artuma Fursi ワレダで人気が高い。(図 3.5.15 参照)

3) 農村社会データによる対象ワレダの類型化

64 ワレダの農村社会は非常に多様で、類型化するのは簡単ではないが、ここでは上記 2 つのデータ (家屋の屋根材から見た貧困度と住民組織の選好度から見たエチオピア正教の影響度) を用いて類型化を行った。

表 3.5.6 農村社会データによる 64 ワレダの分類

Indicator		High Preference on Mahiber and Senbete (Higher than the average: > 32%)	Low Preference on Mahiber and Senbete (Lower than the average: < 32%)
		More influence of Orthodox Church	Less influence of Orthodox Church
More Thatch and Wood Roofing Houses (Higher than the average: >81%)	Less wealthy farmers	Abergelle, Beyeda, Bugena, Dahena, Debark, Ebinata, Gazgibela, Janamora, Lasta, Laye Gayint, Mekete, Seqota, Simada, Wadela (14 Woredas)	Alebuko, Angolelana Tera, Artuma Fursi, Asagirt, Bati, Dawunt, Delanta, Gidan, Gishe Rabele, Guba Lafto, Habru, Jamma, Jilena Timuga, Kelela, Kobo, Mehal Sayint, Menze Lalo Mider, Menze Mama Mider, Sayint, Tenta (20 Woredas)
Less Thatch and Wood Roofing Houses (Lower than the average: <81%)	More wealthy farmers	Adarekaye, Dabat, East Belesa, Enebse Sar Mider, Goncha Siso Enese, Libo Kemkem, Sehala, Shebele Berenta, Telemt, West Belesa, Wogera, Zequala (12 Woredas)	Ambassel, Aregoba Special, Debre Sina, Dessie Zuria, Dewa Chefa, Dewa Harewa, Kalu, Kuta Ber, Legambo, Legehida, Mekedela, Menze Gera Mider, Menze Qeya Gabriel, Tach Gayint, Tehulederie, Wogedi, Wore Illu, Worebabu (18 Woredas)

¹⁶ *Ekub*: 住民間で行う頼母子講の一種; *Eddir/Kere*: 農村部のみならず都市部にもみられる葬式時の住民互助組織; *Mahiber*: 宗教上の祝日に基づく住民グループで、交代で食事や飲み物を準備し、会食後に住民間で社会的な事や経済的な事を話し合う; *Senbete*: エチオピア正教会で日曜日に自発的に集まった信徒に食事を振舞うグループ(日曜日を *Senbet* とする); *Debo*: 重労働を伴うグループによる農作業で、グループ成員のために順番に助け合う; *Wonfel*: 個人レベルでの労働の交換

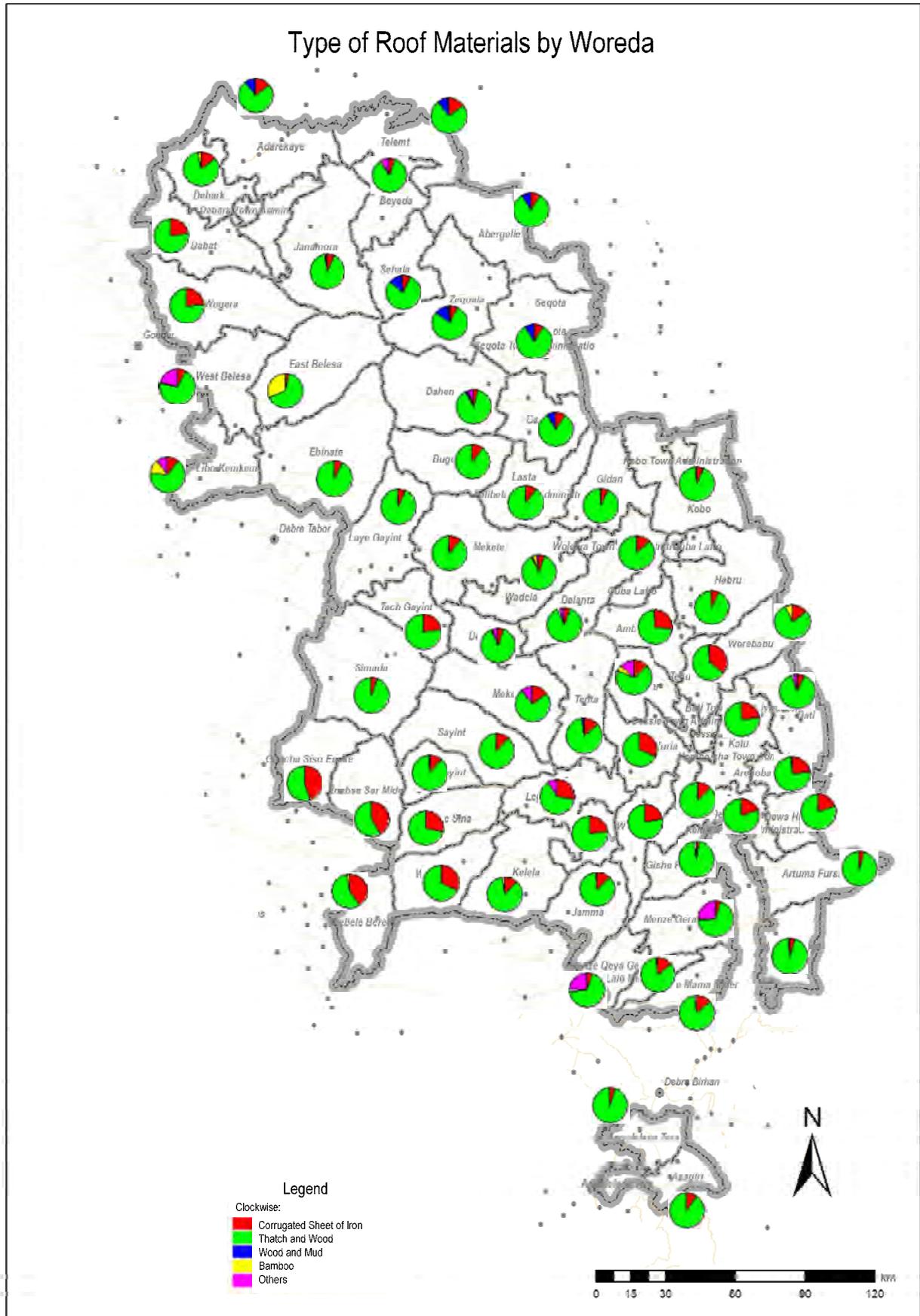


図 3.5.14 64 ワレダにおける家屋の屋根材

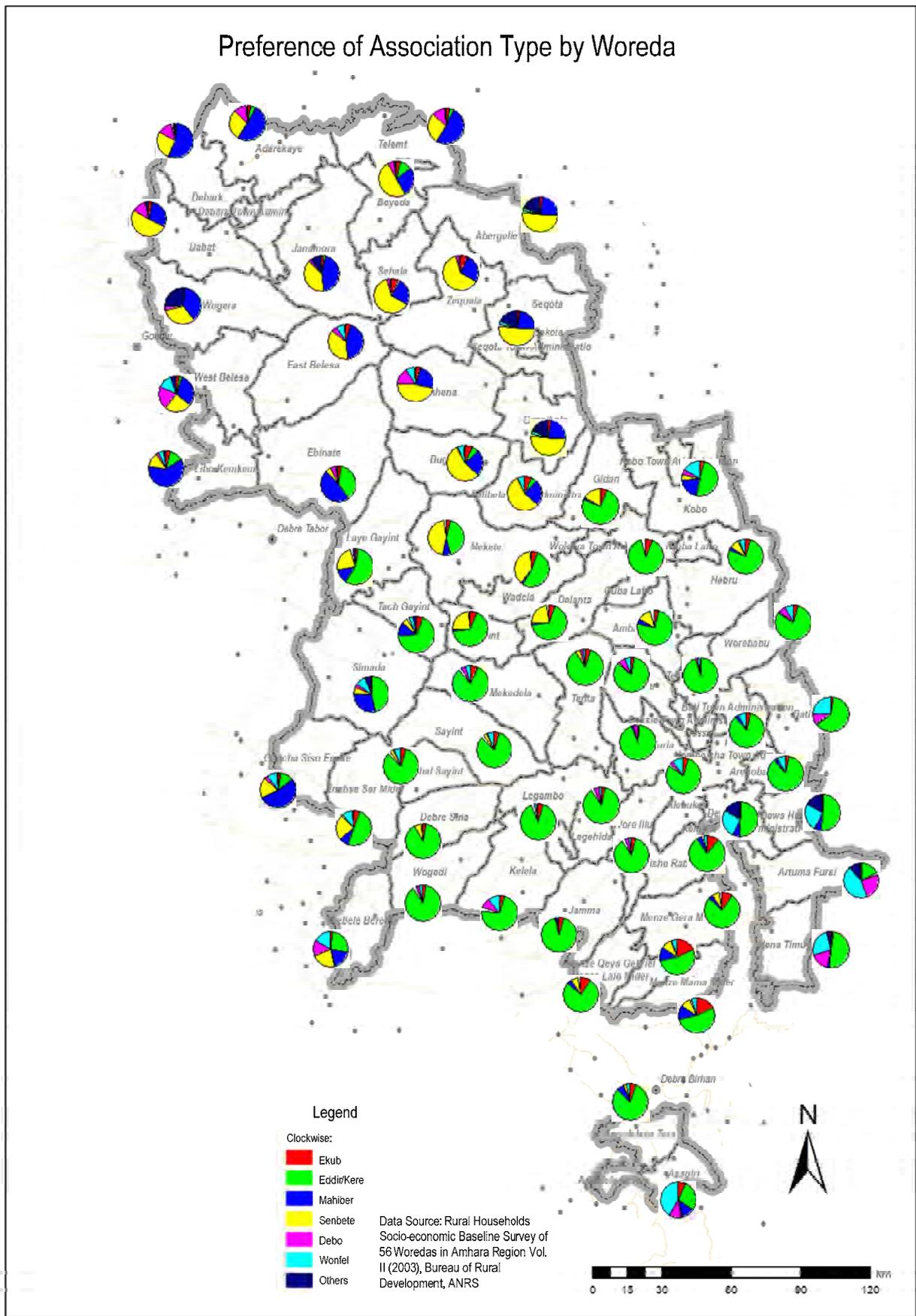


図 3.5.15 64 ワレダにおける住民組織の選好性

3.5.3 農業・牧畜

調査対象地域の類型化のための情報を提供することを目的として農業面からの各 64 ワレダの特徴付けを統計データ (Ethiopian Agricultural Sample Enumeration, 2001/02, CACC) を基に、i) 主要営農システム、ii) 農家当たりの年間短期作物作付面積、iii) 基幹作物と副次作物の組合せ、iv) 小雨期作の本雨期作に対する比率、及び v) 農家当たりの家畜飼養規模を指標として行った。その結果は図 3.5.16 から図 3.5.20 及び次に示すとおりである。

(1) 主要営農システムに基づく区分

調査対象地域の営農システムは、i) 作物生産単一農家、ii) 作物・牧畜複合生産農家、iii) 牧畜単一農家に分類される。調査対象地域及び対象 8 ワレダの営農システムに基づく区分は以下のとおりとなる。

表 3.5.7 調査対象地域及び対象 8 ワレダの営農システムに基づく区分

Proportion of Crop + Crop & Livestock Farm Households to Total	Map Legend	Study Area (No.)	Proportion of Crop + Crop & Livestock Farm Households to Total (%)									
			Target Woreda									
			Ebinata	Simada	Bugena	Gidan	Kobo	Mekedela	Legambo	Aregoba		
>95 %	1	30 woredas										
90 - 94 %	2	27 woredas	97	93	94	96	93	95	94	98		
85 - 89 %	3	7 woredas										

(2) 農家当たりの年間短期作物作付面積に基づく区分

調査対象地域及び対象 8 ワレダは農家当たりの年間短期作物の作付規模により、次表のように四つのグループに区分される。

表 3.5.8 農家当たりの年間短期作物作付面積に基づく区分

Annual Cropped Area of Temporary Crops per Farm Household (ha)	Map Legend	Study Area (No.)	Annual Cropped Area of Temporary Crops per Farm Household (ha)									
			Target Woredas									
			Ebinata	Simada	Bugena	Gidan	Kobo	Mekedela	Legambo	Aregoba		
0.4 - <0.5	1	1 woredas										
0.5 - <1.0	2	43 woredas	0.96	1.06	0.76	0.65	0.79	0.70	1.00	0.52		
1.0 - <1.5	3	18 woredas										
>1.5	4	2 woredas										

(3) 基幹作物と副次作物の組合せに基づく区分

調査対象地域の主要作物は穀物であり、豆類・油料作物が続く。基幹作物と副次作物の組合せによる区分は以下のとおりである。

表 3.5.9 基幹作物と副次作物の組合せに基づく区分

No. of Woredas Grouped by Combination of Most & 2nd Dominant Crop	Map	Study Area (No.)	No. of Woredas Grouped by Combination of Most & 2nd Dominant Crop									
			Target Woredas									
			Ebinata	Simada	Bugena	Gidan	Kobo	Mekedela	Legambo	Aregoba		
Teff - sorghum	1	11 woredas										
Barley - wheat	2	11 woredas	most	most	most	most	most	most	most	most	most	most
Sorghum - teff	3	10 woredas	teff	teff	teff	barley	sorghum	teff	barley	teff	barley	teff
Teff - wheat	4	9 woredas	2nd	2nd	2nd	2nd	2nd	2nd	2nd	2nd	2nd	2nd
Teff - barley	5	8 woredas	wheat	sorghum	barley	wheat	teff	barley	wheat	wheat	wheat	wheat
Other Combinations 1/	6	15 woredas										

1/: Barley - sorghum 4; wheat - teff 3; barley - teff/wheat - barley/sorghum - millet 2; sorghum - maize & teff - maize 1

(4) 小雨期作の本雨期作に対する比率に基づく区分

調査対象地域は本雨期作単作の地域と本雨期作・小雨期作の両作期を持つ地域に区分される。小雨期作の本雨期作に対する比率による区分は以下のとおりとなる。

表 3.5.10 小雨期作の本雨期作に対する比率に基づく区分

Proportion of Belg Crop Cultivated Areas to Meher Crop Cultivated Areas (%)	Map Legend	Study Area (No.)	Proportion of Belg Crop Cultivated Areas to Meher Crop Cultivated Areas (%)								
			Target Woreda								
			Ebinate	Simada	Bugena	Gidan	Kobo	Mekedela	Legambo	Aregoba	
> 30 %	1	30 woredas									
>20 - 30 %	2	27 woredas	2.1	4.3	0.0	32.9	7.7	7.5	72.0	12.8	
>10 - 20 %	3	7 woredas									

(5) 農家当たりの家畜飼養規模に基づく区分

牧畜は調査対象地域での重要な経済活動であり、その重要性は高地に位置する地区及び農地保有規模の小さい地区でより高くなる。牧畜の各ワレダでの重要性を判断する指標として、家畜単位で表した農家当たりの飼養規模を用い区分を行った。

表 3.5.11 農家当たりの家畜飼養規模に基づく区分

Holding Size of Livestock Unit per Household (No.)	Map Legend	Study Area (No.)	Holding Size of Live Stock Units per Household (No.)								
			Target Woreda								
			Ebinate	Simada	Bugena	Gidan	Kobo	Mekedela	Legambo	Aregoba	
2 - <3	1	4 woredas									
3 - <4	2	27 woredas	3.6	3.4	3.5	3.1	3.8	3.7	3.3	3.4	
4 - <5	3	27 woredas									
>5	4	6 woredas									

調査対象地域の農業面からの区分の要約は表 3.5.12 に示したとおりである。

表 3.5.12 調査対象地域の農業面からの特徴付け

Woreda	Agro-Climate Zone	Agricultural Holders by Farming System Proportion of (Crop + Crop & Livestock)	Annual Temporary Crops Cropped Area per Household (ha)	Classification by Dominant Crop Combination 2nd Dominant	Proportion (%) of Belg Cropped Areas to Cropped Areas in Meher	Holding Size of Livestock per Farm Household
1 Enebse Sar Mider	WD	2	2	4	1	2
2 Goncha Siso Enese	WD	2	3	4	1	2
3 Shebele Berenta	WD	1	3	1	1	2
4 Adarekaye	UK	2	2	6	1	3
5 Beyeda	D	1	2	2	1	2
6 Dabat	WD	3	3	3	1	2
7 Debark	UK	2	2	2	1	3
8 East Belesa	WD	3	4	1	1	3
9 Janamora	WD	2	2	2	1	2
10 Telemt	WD	2	2	6	1	3
11 West Belesa	WD	3	4	1	1	3
12 Wogera	WD	2	3	6	1	2
13 Angolelana Tera	WD	3	3	2	3	4
14 Asagirt	D	2	3	6	4	3
15 Giske Rabele	WD	1	3	2	2	3
16 Menze Gera Mider	D	2	3	2	4	3
17 Menze Lalo Mider	D	2	3	6	2	2
18 Menze Mama Mider	WD	2	2	6	1	2
19 Menze Qeya Gebriel	WD	2	3	2	4	3
20 Bugena	WD	2	2	5	1	2
21 Dawunt	WD	1	2	4	1	3
22 Delanta	D	1	2	4	1	3
23 Gidan	D	1	2	2	4	2
24 Guba Lafo	WD	1	2	1	4	2
25 Habru	UK	1	2	3	2	2
26 Kobo	WD	2	2	3	1	2
27 Lasta	WD	2	2	5	1	2
28 Mekete	WD	1	2	5	1	2
29 Wadela	D	1	2	6	3	2
30 Artuma Fursi	D	2	2	3	3	3
31 Bati	UK	1	2		1	4
32 Dewa Chefa	D	2	2	3	2	3
33 Dewa Harewa	D	2	2	3	2	3
34 Jilena Timuga	D	3	2	3	2	4
35 Ebinata	WD	1	2	4	1	2
36 Laye Gayint	WD	2	2	2	2	2
37 Libo Kemkem	WD	2	3	1	1	2
38 Simada	WD	2	3	1	1	2
39 Tach Gayint	WD	1	2	4	1	2
40 Alebuko	D	1	2	6	2	2
41 Ambassel	WD	1	2	6	3	2
42 Aregoba Special	UK	1	2	4	2	2
43 Debre Sina	WD	1	2	6	1	2
44 Dessie Zuria	D	1	2	5	4	2
45 Jamma	WD	1	3	4	1	3
46 Kalu	WD	1	2	2	2	2
47 Kelela	WD	1	3	4	1	3
48 Kuta Ber	WD	1	2	6	3	3
49 Legambo	D	2	3	2	4	2
50 Legehida	WD	2	3	6	3	3
51 Mehal Sayint	WD	1	2	5	1	3
52 Mekedela	WD	1	2	5	1	2
53 Sayint	WD	1	2	5	1	3
54 Tehulederie	WD	2	2	3	3	2
55 Tenta	D	1	2	6	3	2
56 Wogedi	WD	1	2	1	1	2
57 Wore Illu	D	2	3	6	3	3
58 Worebabu	UK	1	1	3	2	2
59 Abergelle	UK	2	2	1	1	3
60 Dahena	WD	1	3	5	1	4
61 Gazgibela	WD	2	2	1	1	4
62 Sehala	UK	1	2	1	1	4
63 Seqota	WD	2	2	1	1	3
64 Zequala	UK	1	2	3	1	4

Source: Ethiopian Agricultural Sample Enumeration, 2001/02, Results for Amhara Region, Farm Management Practices, Part II.A, CACC

Map Legend

Proportion of Crop + Crop & Livestock Farm Households to Total		Annual Cropped Area of Temporary Crops per Farm Household (ha)		No. of Woredas Grouped by Combination of Most & 2nd		Proportion (%) of Belg Cropped Areas to Cropped Area in Meher		Holding Size of Live Stock Units per Household (No.)	
Proportion (%)	Mapping Symbol	Cropped Area (ha/farm)	Mapping Symbol	Most-2nd	Mapping Symbol	Proportion (%)	Mapping Symbol	Holding	Mapping Symbol
> 95 %	1	0.4 - <0.5	1	Teff - sorghum	1	0 - <10 %	1	2 - <3	1
90 - 94 %	2	0.5 - <1.0	2	Barley - wheat	2	10 - <20 %	2	3 - <4	2
85 - 89 %	3	1.0 - <1.5	3	Sorghum - teff	3	20 - <30 %	3	4 - <5	3
		>1.5	4	Teff - wheat	4	>30 %	4	>5	4
				Teff - barley	5				
				Others	6				

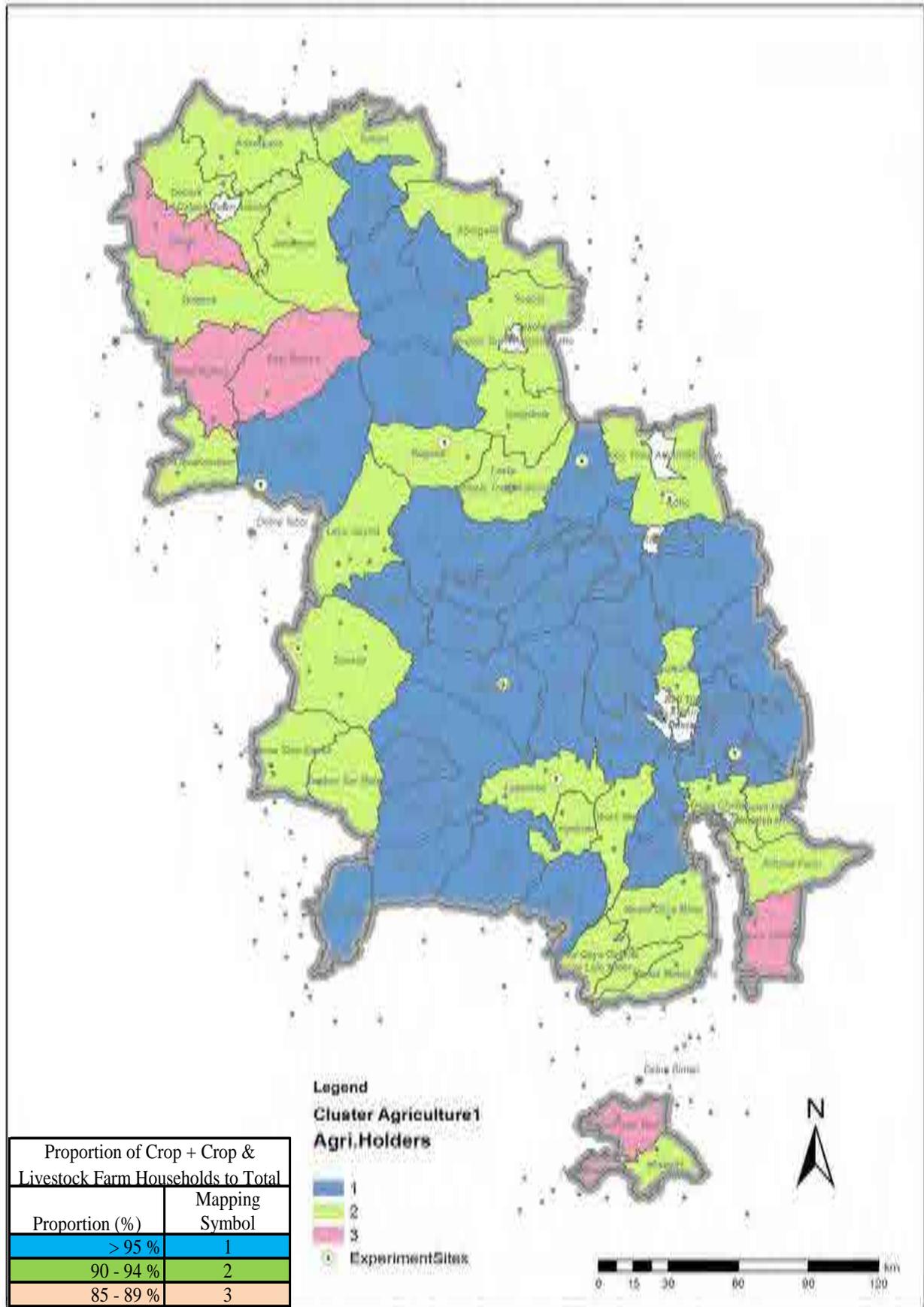


図 3.5.16 調査対象地域の主要営農システムに基づく区分

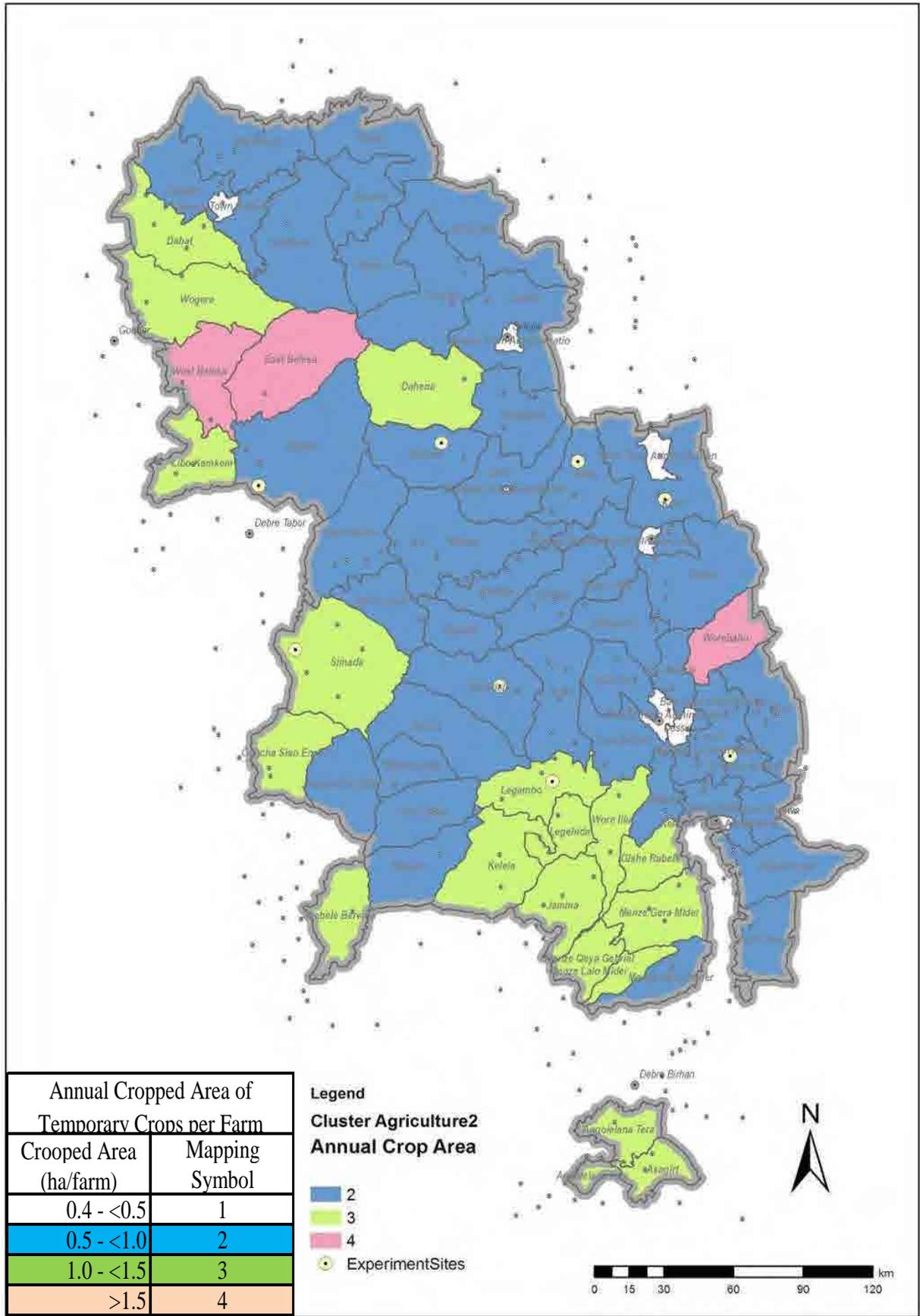


図 3.5.17 調査対象地域の農家当たりの年間短期作物作付面積に基づく区分

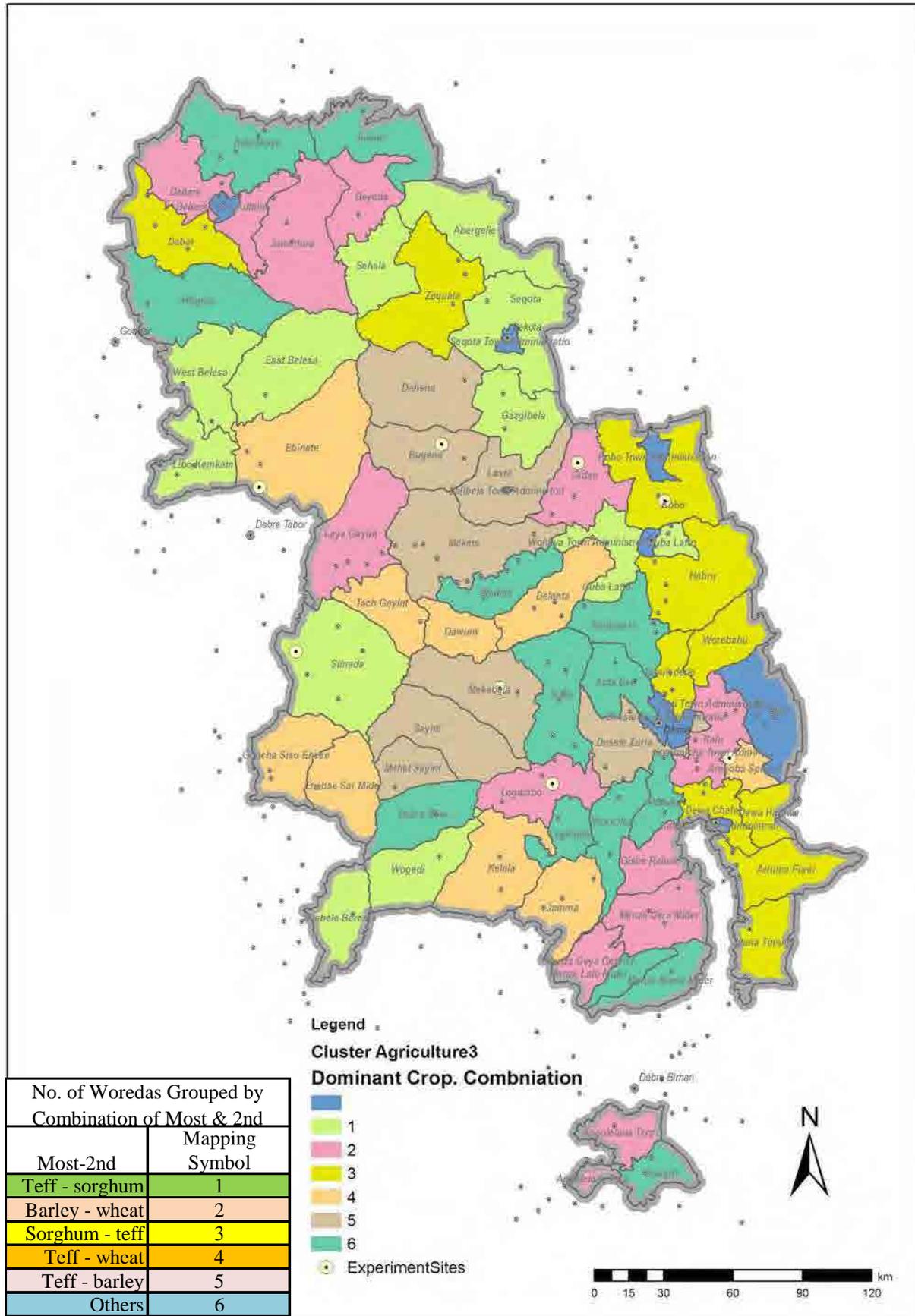


図 3.5.18 調査対象地域の基幹作物と副次作物の組合せに基づく区分

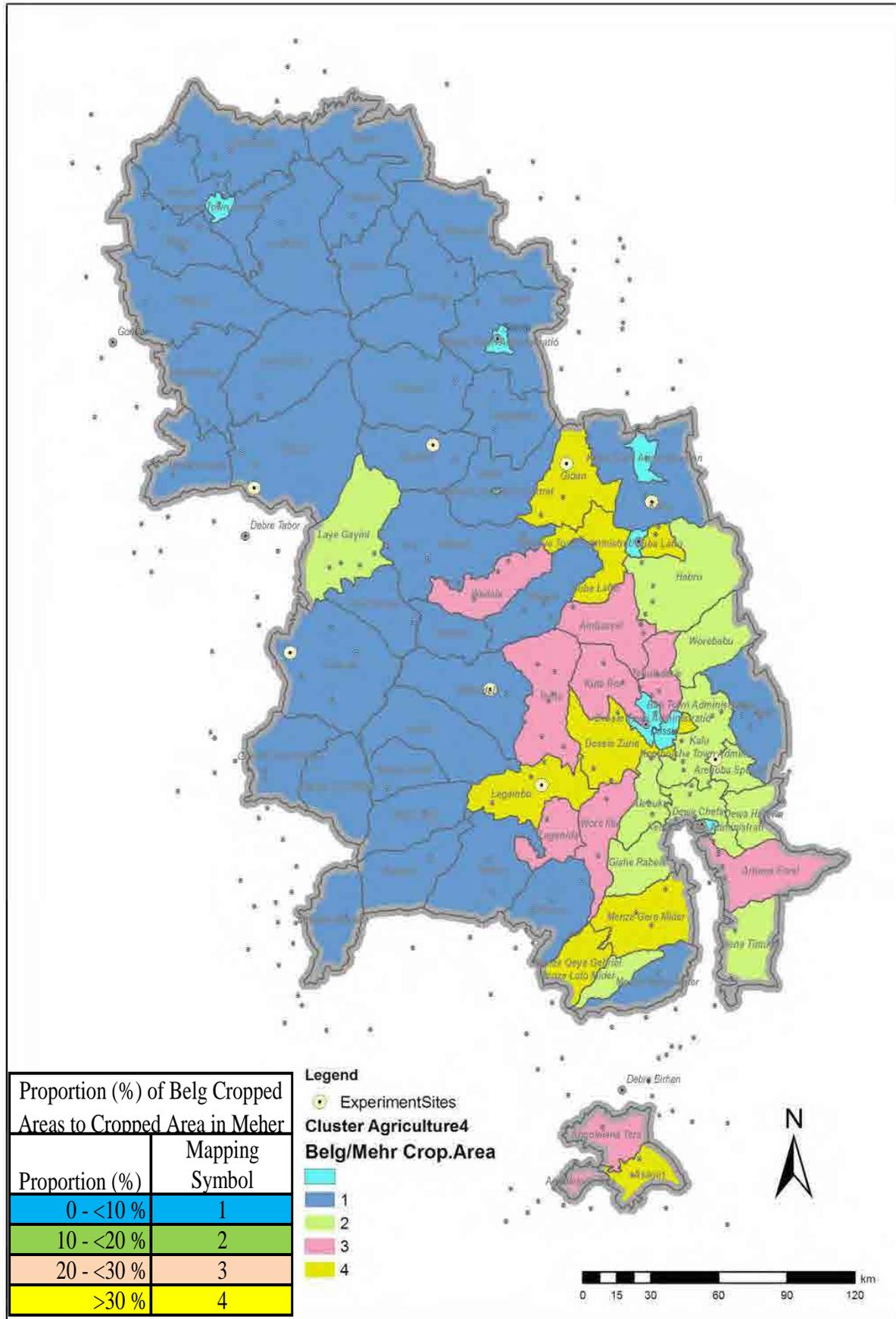


図 3.5.19 調査対象地域の小雨期作の本雨期作に対する比率に基づく区分

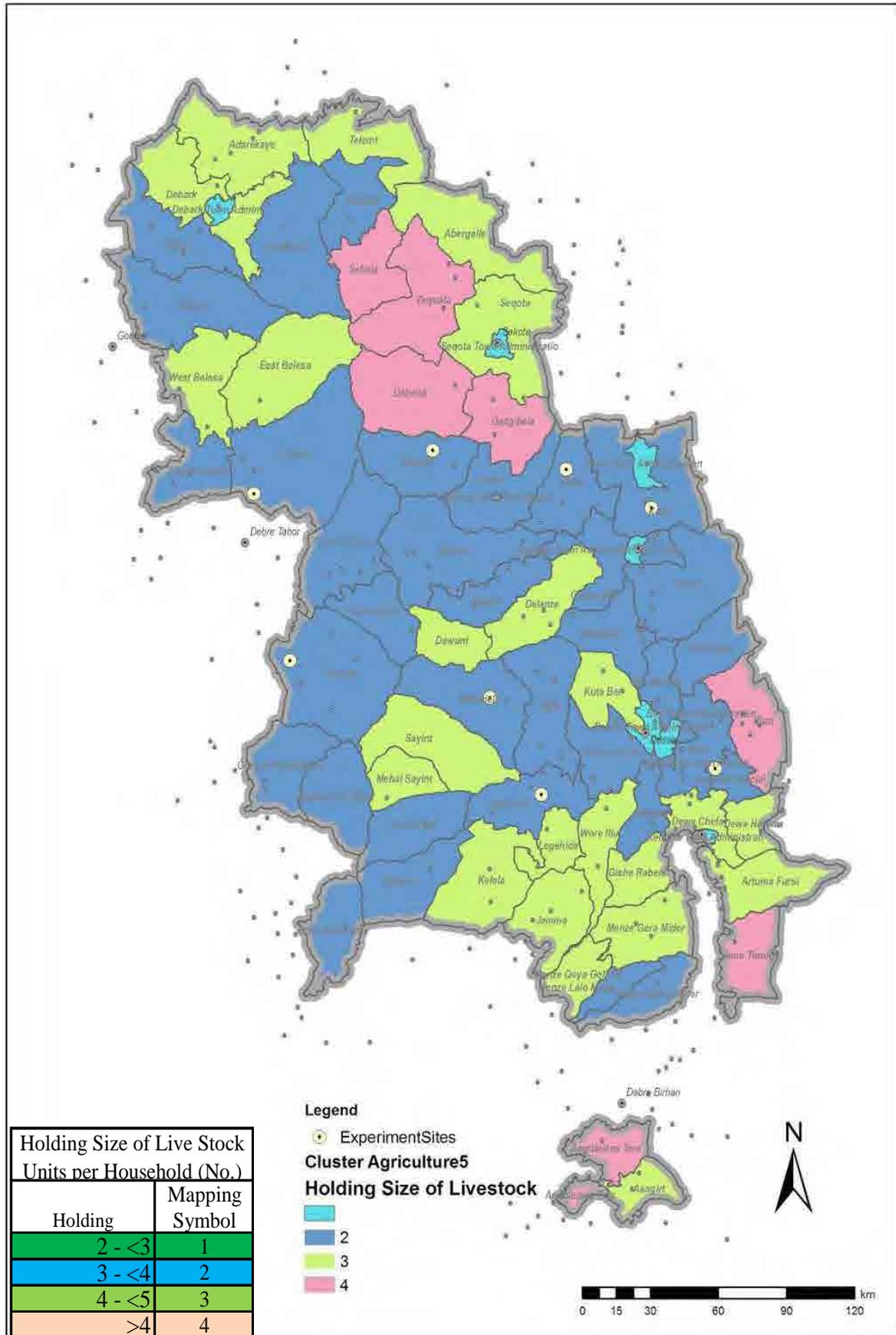


図 3.5.20 調査対象地域の農家当たりの家畜飼養規模に基づく区分